



花の手帖  
(ぬりえ付き)

花村亞音\*あのん

はじめに

育てている花や見つけた野花を  
写真集にしました

また、付録として掲載されている写真の中から  
数枚ぬりえを作成しました  
印刷して写真を参考に色づけしてみてください  
年賀状や絵手紙などにお使いくださいね  
(ぬりえも順次増やしていきます)

ぬりえ「ちいさな、春」「フクジュソウ」「春の芽」「十月桜」  
尚、ぬりえを使用される場合  
illustrations by Hana\*のロゴを入れたまま  
お使いくださいますようお願いいたします。

花村亞音\*あのん



## しずくの中にも花の世界

ケイトウ（鶏頭）科名：ヒユ科

雨上がりの朝。いつものようにカメラを持って しずくを探す。

コンパクトカメラとルーペで 接写。





ほらほら、あの人また来たよ

フクジュソウ（福寿草）科名：キンポウゲ科

紫陽花でにぎわう神戸森林植物園も冬の間は訪れる人も少なくひっそり。

落葉樹の足元で福寿草が顔を出す2月。福寿草の存在はあまり知られていないかもしれない。

陽が射すと花が開く福寿草の色は、光が当たって黄金色。毎年心がホッとする。



フクジュソウ（福寿草）キンポウゲ科  
初春、落葉樹の下で咲く

illustrations by Hana\*Anon





## 光が好きな ユキワリイチゲ

ユキワリイチゲ（雪割一華）科名：キンポウゲ科

福寿草の近くにユキワリイチゲ。この場所は斜面になっていて、自生している半日陰の植物が  
たくさん見られる私のお気に入りのスポット。木漏れ日が射すと花が開く。

この日も数人の写真家が、花開くのを静かに見守っていた。



ユキワリイチゲ (キンボウゲ科)

illustrations by Hana\*Anon





## 秋晴れの いちにち

コスモス（和名：秋桜）科名：キク科

週に一度は歩く道で ある日突然コスモスの群生が目の中に飛び込んできた。花開前の先週はさほど気にならない緑の草原。それがコスモスが咲き始めると 秋晴れの下まるで映像を見ているかのような美しい景色に変わる。





## 星のケーキ

コスモス（秋桜）科名：キク科

コスモスの花にルーペを使って接写してみると 肉眼では気が付かない☆がたくさん。花が新しい方が 整った星が見られる。こんなケーキがあったら おいしいだろうな。



くるりんカール

ウィンターコスモス 科名：キク科

園芸品種のウィンターコスモスは コスモスの星とはちがって くるりんカール  
肉眼では見えない 植物の芸術を見つけると うれしくなる





## “パラポナアンテナ”

オオイヌノフグリ 科名：オオバコ科

野に咲く花。雑草といえばそれまで。こんなに大きく撮られることもあまりない。けれど、咲く花の少ない冬の野原で 足元のチラホラ見えるコバルトブルーが気になる。見ると なんとも可愛らしい花姿は 春をキャッチする “パラポナアンテナ”





マルバルコウソウ

マルバルコウソウ（丸葉縷紅草）科名：ヒルガオ科

花期は夏から秋。息子の寮の建物の陰になる湿った場所、他の植物に絡み付いて群生していた。タネを採取して 日当たりのよい我庭に撒いてみたけど こんなに青々と茂ることはなかった。やっぱり 環境は大事。



## コミカンソウ

コミカンソウ（小蜜柑草）科名：コミカンソウ科

葉の裏にまるで小さいミカンが整列している。とにかく小さい。ミカンに似た実は数ミリ。やっと見つけたコミカンソウを這いつくばって撮った。





## 光と花の芸術

ホトトギス（杜鵑） 科名：ユリ科

ルーペとマクロで撮ることに はまっている。ホトトギスの開花がうれしい朝。  
見えてきたのは ガラス細工のような 芸術。





おさかな釣れた

ツリフネソウ（吊舟草） 科名：ツリフネソウ科

ツリフネソウを探して森林植物園。全くヒントもないまま広い敷地 歩いて見つけた。

池の近くの明るい溝脇。名前の通り舟を吊ったような姿の面白い花。膝をついて這いつくばって接写しているうちに 魚の形に見えてきた。



まっしろしろすけ

名前がわからないから あだ名をつける。  
ただ単に 白いから。まっくろくろすけの はんたい。



さとう菓子

ミゾソバ（溝蕎麦） 科名：タデ科

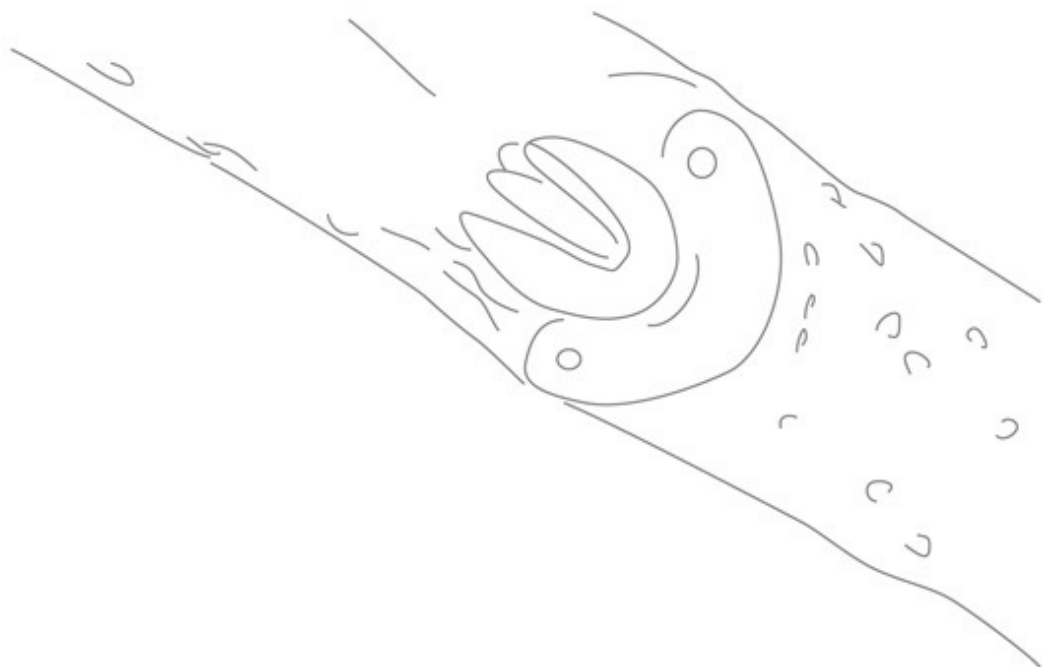
ツリフネソウに続いて撮った。魚に見えたツリフネソウ。ミゾソバは あまーい さとう菓子。食べ物に見えるのは お腹がすいたからかな？池のほとりで昼食にしよう。





“ハルマチセイジン”

オニグルミの春を待つ冬芽 ニッコリ笑顔が 愛らしい。そんな冬芽をさがすのが楽しい冬。  
“ハルマチセイジン” は 私が名付け親。



「オニグルミの冬芽」  
illustrations by Hana\*



## 小さな、はる

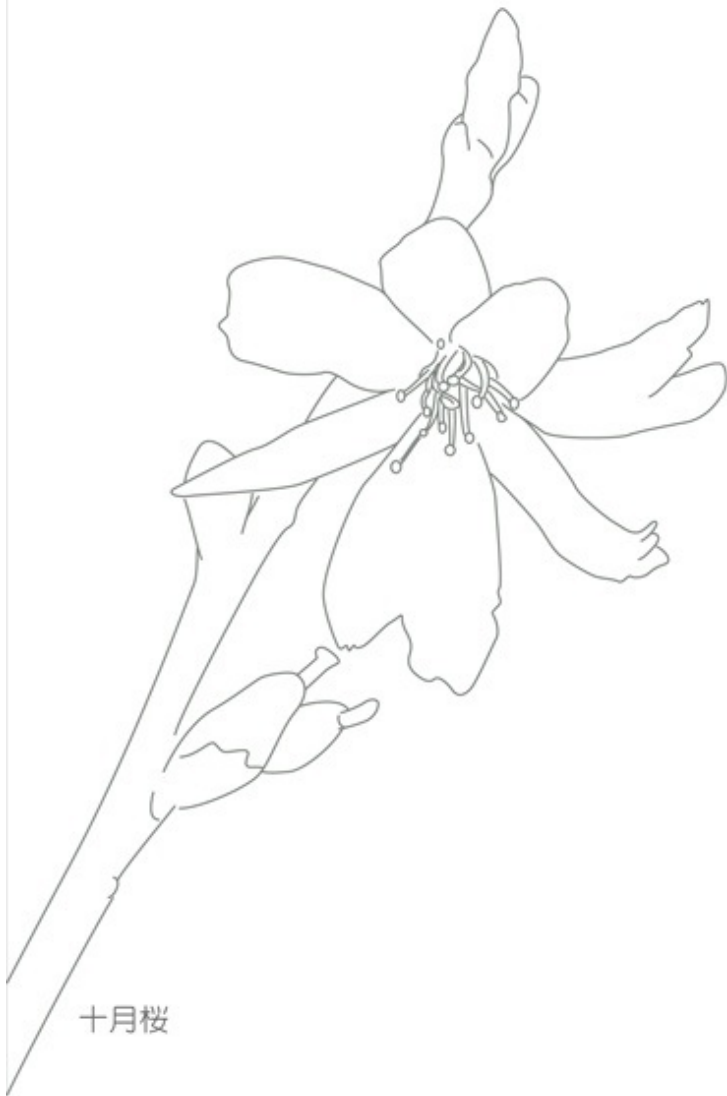
ジユウガツザクラ（十月桜）科名：バラ科

花が4月上旬頃と10月頃の年2回開花する。花は十数枚で、萼筒が紅色でつぼ型である。

また、春のほうが花は大きい。樹高は5m程。（ウィキペディアより抜粋）

花の開花にタイミングよく出会えたこの日、はじめて見た十月桜はとても可憐で一目ぼれ。





十月桜



コウヤボウキも くるりんカール

コウヤボウキ（高野箒） 科名：キク科

花びらの先が くるっと丸まっている。だから くるりんカール。私のプロガーさんつながりは  
ふつうの表現。一見マニアックな趣味だけど 専門用語は ほとんど知らない。

私が得意なのは 表現力と観察力。



## ランパシェード

タネが旅立ったあとの姿が 色っぽい

花の名前はわからない。春になったら どんな芽が出るんだろう





はなかご

花の少ない季節だけ注目。花好きは 花を探してあるくから



春のポップコーン 春の音符がはじけてる♪

ウメ（梅）科名：バラ科

小春日和の一日だった。コンパクトカメラで接写。とてもいい香りがひろがっていた。  
梅の花器の中で、春がはじけているようだった。



## 花のおしゃべり聞こえてきそう

ウメ（梅）科名：バラ科

梅がそろそろ・・・と聞こえてくると いち早く春を感じたい人たちで にぎわう。  
この日は小春日和の一日。いい香りに幸せいっぱい。





## 花の雪

ユキヤナギ（雪柳）科名：バラ科

春になると、細い枝に雪が積もったようにたくさんの 小さな花。

長男誕生の3月、まるで誕生をお祝いしてくれているかのように満開だった。25年前。



ぴーん

クリスマスローズの新芽 科名：キンポウゲ科

私の花日記には、クリスマスローズの話が定番。年々こぼれ種で増えているクリスマスローズ。親株の下から芽を出している双葉。寒く冷たい冬の終わりがうれしい。



「春の芽」  
illustrations by Hana\*

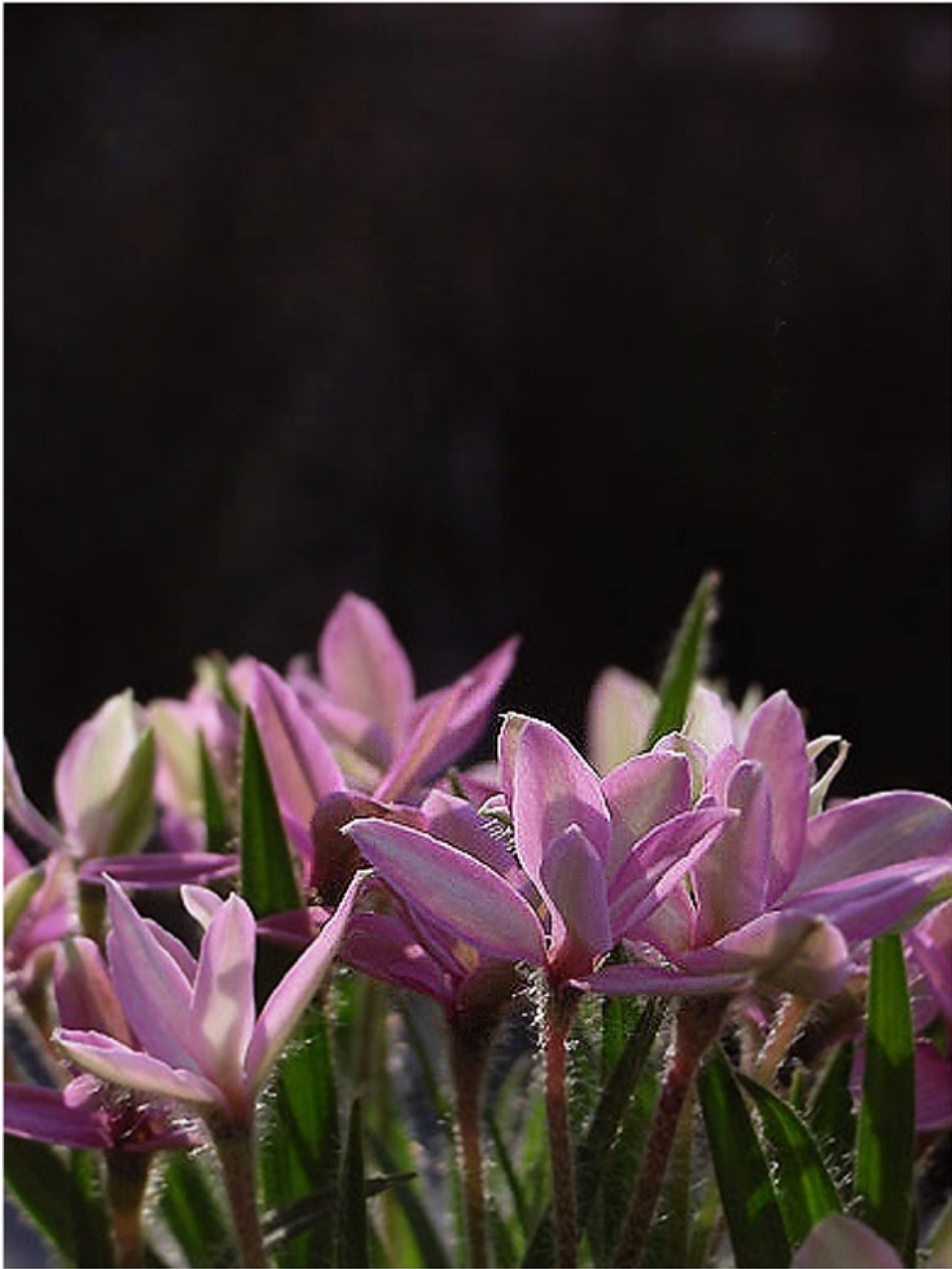




春の陽射し、まだ冷たい風

ネコヤナギ（猫柳）科名：ヤナギ科

華やかさはないけれど、どなたかの庭先で光にキラキラ揺れている姿が気に入って、庭に植えてみた。いつも咲くのは2月の冬布団が必要な寒い冬。春は確実に近づいている。



## 元気になる

アッツザクラ（アッツ桜）科名：ユリ科

ユリ科だそう。母が小さな鉢で毎年上手に咲かせていた。私もこの春咲いている花を買った。この花は思ったよりも強くて育てやすい。小さな球根が鉢いっぱいになる。